あすか

１９８９年（平成元年）
5月10日発行　第１号
発行人　島岡清美
〒114 北区豊島5—5—7—1229　☎(911)６８６５
編集人　石垣正剛
（題字）　後藤如水

創刊を祝して

東京都行政書士会
会長　小勝正男

北支部の皆様には、益々ご健勝のことと存じお慶び申し上げます。

平素は、会運営につきまして絶大なるご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

お陰をもちまして会の事業も順調に推移いたしており、これも偏えに皆様方のご後援の賜と存じ、ここに改めて深謝申し上げる次第でございます。

さて、一昨年暮に会長職にご推挙戴き一年有余が過ぎましたが、特に感じましたことは会員の皆様方が諸事万端、真剣に会を思い、そして憂い、よりレベルアップしようと心がけておられますことが切実に私の胸中に伝わってきていることです。

北支部におかれましては、島岡支部長を中心に、益々発展なさいますことをご祈念申し上げ支部報創刊を祝してのご挨拶といたします。

創刊のあいさつ

支部長
島岡清美

会員の皆さまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、何かとご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

このたび、支部だより「あすか」が多くの方々のご協力により創刊する運びとなりました。支部会員の皆さま方のコミュニケーションの場となるよう努めてまいります。

私共、北支部は故橋本雅晴氏（連合会長）や関博宣氏（東京会副会長）をはじめ数多くの先輩が行政書士の社会的地位の向上と発展のために、鋭々と努力された伝統ある支部であります。

今後、この支部だよりが、いっそう会員の皆さまのご繁栄と親睦の一助となるようご協力を心からお願い申し上げます。

創刊によせて

平成元年か一年か

副支部長　雫石雄平

元号のよみかたは、内閣告示がしめしている（へいせいとよむ）が、元年か一年かは、なにもないので、かくひとの自由だとおもっていたら、行政書士とうきよう№242の34P.で「新元号の初年は平成元年と記載すること」とあった。これは、だれが指示したのか、指示者名がないのでわからない。

元年は訓よみをすれば「はじめのとし」とよむ。一年の一も訓でよめば「はじめ」であるから、よみもいみもおなじである。

一は算用数字では1である。現に鉄道、郵便局、銀行その他計理事務では、平成元年のいみにもちいている。平成1年がよくて平成一年ではダメだというのは、おかしくないだろうか。

「あすか」の発刊について

副支部長　後藤亀壽

支部報の創刊は私の長年に亘る念願であり、それが平成元年の記念行事として実現されますことは誠に御同慶の至りに存じます。

それは同志会員の身近に起きている出来ごとや、業務上必要な情報を一刻も早く知りたいとか、或いは諸先生方の研究やご趣味を手軽に発表して会員各位の理解と親睦を図り、且つ業務の手引きに生字引きとして役立つ様にと期待して、この発刊を待ち望んで居たからです。

それが今後企画編集を担当された各位のご熱意とご尽力により、目出度く発刊される運びとなりましたことに対し心から感謝申し上げる次第です。

爾後企画編集者の御心労の程いかばかりかとは充分承知して居る処ですが、折角発刊されたからには愛して読まれるものとして益々内容の充実を図りながら永続されます様念願してやみません。

終に企画編集担当者をはじめ会員諸先生の一層のご健勝とご発展に併せ支部報の益々の充実と永続されることをご祈念申し上げる次第です。

会報「あすか」発刊によせて

副支部長　光居正義

平成元年度に支部会報第一号が発刊運びになりましたことは相互の連携、親睦のためご同慶の至りで北支部のますますの発展を心から祈念申し上げます。我々人間社会に於てその持てる力を発揮し得ずして終止符をうつうずもれた人が数限りなくあるのはないでしょうか、人間には行動の美と文筆に依る美、この二点の美こそ人生に大きな意義を有するものであると思います。

己れの業を愛し
己れの家庭を愛し
己れの友を愛し

私は常にこの精神に近づこうと努力しております。

顧りみて昭和五一年七月三日に北支部「支部細則」が制定され以来、島岡支部長を中心として支部活動の推進にご尽力された諸先生方に敬意と感謝申し上げると共に希望ある支部会報であることを念願するものであります。終りに皆々様のご健祥を祈念申し上げ、創刊号の発刊に当りお祝のことばといたします。

平成時代の幕明け

副支部長　太田　衛

「目が拗ねて身は春泥の片えくぼ」　羊二

私の句で恐縮乍ら、現代人は現代の血をもって詩う、これが現代俳句である。

この平成元年に支部会誌「あすか」が発刊される。またこれを契機に支部が益々発展することを祝し、平成時代の幕明けとする。

祝　創刊

監事　福島荘八

念願久しい、支部会報の創刊を心からお慶び申し上げます。

これを機に今後、北支部のコミュニュケーションがより一層深められ、お互いの情報交流が書士業務に役立ち、相互に創造力を呼び覚ます活性剤となれば幸いであります。

八十名に近い、多人数の北支部の全会員が一堂に会することを期待していますが、この期待も困難な状況下、せめて支部会報に投稿して頂くことで、皆様の消息に接することを楽しみにすることができます。

支部の連帯を切に祈ります。

書士業務

監事　池畑福栄

受話器を取って、ふたこと三こと話してから、用件をきくと、

「建設業の許可申請をしてもらいたい」という。

「これまでに、登録か、許可を受けたことがありますか」

「まだ受けたことはありません」

「会社は何時ごろ創立されたのですか」

「もうかれこれ一二～三年程前のことです」

と言う。

「私のところを、どうしてお知りになったのですか」

「……」

永い間の業務経験から、このように、電話で依頼してくる人に限って、きまったように料金を聞かれるものである。

そこで、僕のほうから先手をうって、

「料金が知りたいのでしょう」

「おいくらでしょう」

「料金は書士会できまっていますけど、手数が掛かるか、掛からないかによって多少の差はでてきますよ」とつけ加えておいた。

それから二日ほどしてから、ひょっこり訪ねてきた。いろいろ話しているうちに、やってあげることになったのはよいが、技術者の実務経験証明をまとめ上げるのにはたいへんな日数がかかって、結局は採算割れになってしまった。

しかし、これも行政書士の業務上の宿命と諦めて、気持ちよく、許可を取ってあげ、感謝されることができた。

研修会報告

前田浩利

北支部会員が参加できる研修会、講習会は現在のところ、本部主催のものと三支部（文京・台東・北）合同研修会の二つがあります。

私が携っているのは二つのうち三支部合同研修会の方であります。この三支部合同研修会は旧城北地域研修会の流れを汲むものであり、地域研修会が消滅した後、地域研修会に参加していた文京・台東・北の三支部が協力して研修会を主催し、今日にいたっています。私も含めた三支部の業務研修協力員がテーマ、講師、場所等を打合せた上で自主的に開催してきており、年二～三回の開催を目途にしております。一昨年、東北への管外研修旅行も行ないました。如何だったでしょうか。

本年度の研修会は、本部の方針決定の遅れを受けて二回のみの開催となりました。一回目は十一月十九日に北区会館で「自賠責保険」の研修会をやり、不肖私が講師をつとめさせていただきました。二回目は年が明けてつい先日の二月二五日、文京区民センターで大川原先生を講師にお招きして「入管業務について」を開催いたしました。

いずれも全くの初心者の方でもある程度まで理解していただけるように工夫してやっておりますので、これから参加してみようとお思いの方も安心しておいで下さい。

街頭無料相談報告

昭和六二年十月二八日、午前十時から赤羽駅前広場において支部長以下九名の相談員が出席して相談に応じた。当日相談に訪れた人数は十四名十五件で昨年に比べ、二件の増加であったが、他に区政、都政に係る住宅問題や福祉問題など場所柄、多彩な相談内容でした。

支部総会報告

一九八九年度（平成元年度）北支部総会は四月一七日（月）午後六時より北区会館第三集会室で開催しました。

本部より小桧山総務部長を迎え、出席会員二十一名、委任状二十二名（四月一日現在会員七十七名）をもって、諸議案の審議がなされ、新年度事業計画、収支予算、新役員等が決定されました。終了後、なごやかに懇親会がもたれました。

◎一九八九年度（平成元年度）事業計画

一、研修会、無料相談、懇親会など活発に行う。

二、東京会の諸行事（研修会、バス旅行、同好会、懇新会等）に積極的に参加する。

三、会報誌（あすか）の発行、年二回程度。

新役員は次の通り

支部長　島岡清美
副支部長　雫石雄平
副支部長　太田衛
副支部長　後藤亀壽
副支部長　光居正義
監事　池畑福栄
監事　福島荘八
相談役　関博宣

◎本部関係

理事　後藤亀壽
理事　鈴木忠男
車庫証明　光居正義
業務研修　前田浩利
広報協力員　福島荘八
監察協力員　石垣正剛

◎東京行政書士政治連盟関係

副会長　島岡清美
幹事　太田衛
幹事　後藤亀壽

◎代議員（十一名、政連も兼務）

島岡清美・雫石雄平
後藤亀壽・太田衛
光居正義・鈴木忠男
池畑福栄・福島荘八
前田浩利・石垣正剛
笹川三郎

◎支部の動き

一月十六日・新年賀詞交歓会（本部）

二月十三日・三支部合同研修会（上野区民館）

二月二三日・小勝新会長をかこむ懇親会（半平食堂）

四月二三日・支部定時総会（半平食堂）

九月三十日～十月一日・管外研修会（長野・湯田中）

十月二八日・街頭無料相談（赤羽駅前）

十一月十九日・三支部合同研修会（北区会館）

十二月十日・支部忘年会（半平食堂）

一月十四日・新年名刺交換会（東急文化会館）

二月二五日・三支部合同研修会（文京区民センター）

四月十七日・支部定時総会（北区会館）

◎新入会員（昭和六三年七月以降）

阪田裕美・北区赤羽西六―三〇―三・本蓮沼ハイツ四〇七・☎九〇七―四六一六

吉永三郎・北区上十条五―三五―九稲見方・☎九〇八―六三七四

河内和憲・北区東田端一―三―五コスモ田端二〇五・☎八一〇―七七五一

鐵川照夫・北区赤羽二―九―一・☎九〇一―二八四八

河村勝也・北区田端新町三―二六―二・☎八一〇―七二五〇

◎原稿募集のお知らせ

支部会員諸先生方の研究事項や情報、ご意見等のご寄稿をお待ちしております。

原稿は左記宛にご郵送下さい。

投稿先　北区赤羽二―二一―四　石垣正剛まで